

産婦人科

1. 【一般目標(GIO)】

患者が安心できる産婦人科診療を提供するために、患者に対する精神ケア、インフォームドコンセントの重要性について理解し、①周産期、②腫瘍、③生殖内分泌、④女性のヘルスケア（4分門）の基礎および臨床応用について学習する

2. 【行動目標(SBOs)】

1	正常妊娠・分娩・産褥の管理ができる
2	異常妊娠の診断と病態の把握ができる
3	胎児診断とその治療の適応について理解できる
4	婦人科領域の検査法の原理と適応が理解できる
5	婦人科疾患（良性・悪性）の診断ができ、治療方針の検討ができる
6	婦人科疾患の基本的手術手技を修得する
7	生殖内分泌および不妊症・不育症の生理と病態が理解できる
8	生殖内分泌および不妊症・不育症の検査法の原理と適応が理解できる
9	女性のヘルスケア領域の検査法の原理と適応が理解できる
10	女性のヘルスケア領域の診断ができ、治療方針の検討ができる

3. 【方略】

	【対応するSBOs】	
1	入院患者の担当医として、主治医である指導医とともに診療にあたる	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10
2	問診、診察、術前画像診断の解釈、鑑別診断、担当患者の手術適応について修得する	1, 2, 3, 4, 5
3	指導医とともに新患外来・他科からの外科的疾患コンサルテーションに対応する	1, 2, 3, 4, 5, 7, 8, 9, 10
4	産科的な基本手技（胎児計測、内診、分娩の介助、縫合など）を行う	6, 10
5	婦人科的な基本手技（内診、コルポスコピー、腹部超音波、経膈超音波、開腹、閉腹など）を行う	1
6	回診・カンファレンスに参加し、発表、討論を行う	2, 4, 5
7	学会や研究会に積極的に参加し、症例報告や研究発表を行う	2, 4, 5
8	希望者にはサマースクールへの参加や学会発表の機会を通じて学外機関との討論の場を提供する	2, 3, 4, 5, 7, 8, 9, 10

4. 【評価】

①研修医に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法	【対応するSBOs】
担当した入院患者の疾患と患者数	自己・指導医	患者退院時又は研修終了時	ポートフォリオによるチェック	1, 2, 3, 4, 5, 7, 8
診療態度	自己・指導医・コメディカル	研修中旬 研修終了時	フィードバックシート	3, 5, 11
関連手技	自己・指導医	毎週	ポートフォリオによるチェック	6
カンファレンスでの症例提示	自己・指導医・コメディカル	毎週	口頭でのフィードバック	1, 2, 3, 4, 5, 7, 8
学会発表・論文発表	自己・指導医	随時	学会発表・論文発表	2, 5

②当該科に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの当該科への評価	研修医	研修終了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

③指導医に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの指導医への評価	研修医	研修終了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

5. 【週間スケジュール】

	月	火	水	木	金
午前	手術・病棟	手術・病棟	カルテ・回診 手術・病棟	手術・病棟	手術・病棟
午後	手術・病棟	婦人科カンファレンス	抄読会 勉強会 臨床研究報告会	産科カンファレンス	手術・病棟

6. 研修医の事前準備

産婦人科の教科書をおさらいすること

7. 【研修指導体制】

研修責任者： 三浦清徳

指導医： 北島道夫、長谷川ゆり、北島百合子、三浦生子、森崎佐知子、松本加奈子、原田亜由美、朝永千春、阿部修平、福嶋愛、梶村慈、重富典子、宮下紀子、村上亨、計14名のスタッフが指導にあたる。

コメディカル： 病棟師長、主任

8. 【緊急連絡先】

産婦人科病棟業務マニュアル参照